

第二十回

令和七年

10/19

(日)

午後1時開演(開場12時30分) 午後4時半頃終了

一ツ目弁天平曲会

へいけ
平家の都落
みやこおち
卷第七より



江島杉山神社公式

江島杉山神社 御社殿

えじますぎやま

〈アクセス〉

JR 両国駅西口より徒歩8分
都営線森下駅より徒歩13分

講話『平家物語』の都落ちにおける別れと悲しみ

青山学院大学 文学部准教授 滝澤みか 先生

「忠度都落」

ただのりのみやこおち

前田流平家琵琶 鈴木孝庸門下

荒井 今日子

前田流平家琵琶 橋本敏江門下

「一門都落」

いちもんのみやこおち

鈴木 孝庸

前田流平家琵琶 鈴木孝庸門下

「福原落」

ふくわらおち

高橋 秀樹

前田流平家琵琶 鈴木孝庸門下
(前半) 古賀 晋太郎
前田流平家琵琶 鈴木孝庸門下
(後半) 梶井 絢名

「生食」

いけずき

「鱈」(前半)
すずき
前田流平家琵琶 鈴木孝庸門下
山口 亨

〈 お問い合わせ 〉

ひとつめべんてんかい

一ツ目弁天会

電話070-6980-7123 FAX03-6904-5092

Email: heikyoku.hitotsume@gmail.com



@hitotsumebenten



一ツ目弁天会

市民から

文化力

POWER OF CULTURE



第20回 一ツ目弁天平曲会 演者紹介



鈴木 孝庸

平家物語 巻第七／
平家正節 十三之上
「一門都落」

1947年秋田県生まれ。
前田流平家琵琶橋本敏江門下。
新潟大学名誉教授。専門、日本古典文学。1980年1月、橋本敏江師に入門。
2016年10月、橋本師御逝去。
2017年6月、館山宣昭師に入門。
2018年6月、館山師より大秘事伝受。これまで、東京、横浜、鎌ヶ谷、仙台、弘前、札幌、新潟、名古屋、豊田、武生、京都、鳥取、下関のほか、イエール大学、パリ第7大学、ボルドー大学、ワルシャワ大学、天津外国語大学、臺灣大學で演誦。
現在、荒井今日子とともに、羽村市医王山宗禪寺にて一部平家を継続中。



高橋 秀樹

平家物語 巻第七／
平家正節 五之下
「福原落」

新潟大学人文学部教授。
鈴木孝庸門下。
専門は歴史学、古典学。
故橋本敏江師、鈴木孝庸師、館山宣昭師に師事。
鈴木孝庸師より大秘事傳受。相伝者。
単独演誦による全六十回の一部平家を新潟市中央区勝楽寺にて行い、令和七年四月十五日に完結。
単独演誦による連続二十日の一部平家を新潟市中央区万代市民会館にて行い、令和七年七月十五日に完結。
現在、単独演誦による一部平家を、新潟市中央区勝楽寺他を会場として継続中。



荒井 今日子

平家物語 巻第七／
平家正節 三之下
「忠度都落」

前田流平家琵琶 鈴木孝庸門下。
一ツ目弁天会世話人代表。東京都世田谷区出身、都内在住。視覚障害者ガイドヘルパー他介護福祉係に就業。音楽療法・西洋音楽の学びを経て平成25年に平曲入門、平物修得済。東京墨田区(両国)の江島杉山神社を活動拠点に、春秋2回の「一ツ目弁天平曲会」を開催。大原寂光院・熱田神宮・江島神社・竹駒神社、志波彦神社 鹽竈神社で奉納演奏を行った。令和6年11月鳥取県 臨済宗 虎石山能引寺にて(所有の天正琵琶 銘アンジョが造られた寺)奉納演奏。名古屋・一般社団法人月見ヶ岡文芸芸舎主催、「平曲鑑賞会」令和7年6月22日出演、令和6年5月「平家正節編纂二五〇年記念」名古屋開幕行事出演、同 仙台大会にて令和7年11月23日演奏予定。その他、学習院大学名誉教授 諏訪春雄先生主宰「民族文化の会」12月21日公演予定等。



柳井 絢名

平家物語 巻第九／
平家正節 一之下
「生食」(後半)

2001年群馬県生まれ。
東京都在住のアルバイター。
東京とマレーシアで育つ。
首都クアラルンプールのイギリス系インターナショナル・スクールに約9年間通う。

平家琵琶が、物語を伝える芸能のなかでも珍しく、概ねなにか登場人物などになりきって演じることなく物語を語っていくものであるところや、主に琵琶法師たちにより語られていたところ、そして平家物自体が作者不詳(諸説あり)であり、史実をもとにした物語であるところなどが、かっこいいと思っている。



古賀 晋太郎

平家物語 巻第九／
平家正節 一之下
「生食」(前半)

埼玉県出身、東京都在住の会社員。早稲田大学第一文学部卒業。
江島杉山神社の近くに住んでいた時、たまたま一ツ目弁天会の平曲の会にお邪魔させていただき、なんともいえないよさに惹かれました。
何回も通ううちに、身の程知らずにも平曲のご教授を願い、入門させていただくこととなりました。

趣味で能の観世流の謡と仕舞、護身術を習っています。また、フェルデンクライス・メソッドという健康法を学んでいます。



山口 亨

平家物語巻 第一／
平家正節 一之上
「鱸」(前半)

鳥取県鳥取市出身、在住。
薬剤師資格を有する開業歯科医。2024年11月16-17日、鳥取県八頭郡 臨済宗 虎石山能引寺における鈴木孝庸・荒井今日子両師の奉納演奏を聴き、平曲のすばらしさに感銘を受ける。
平曲＝平家琵琶のすばらしさにはまり、現在、入門之儀を終えまもなく琵琶之伝。月に2回東京稽古に出向き、声の出し方から猛特訓中。
中世における源平藤橘の歴史に深い関心がある。入手したばかりの製作者不明の古琵琶の銘器に出会い、その価値を知りたくて、うずうずしている。
趣味は、テレビ「なんでも鑑定団」をみること。その他、ジャズやベンチャーズなどのドラマ演奏。



〈会員募集中!〉

一ツ目弁天会 では、前田流平曲 の普及と
後世への継承のための演奏活動を御支援して
くださる方を随時募集しています!

日本に僅かししか演誦者がいない平曲＝平家琵琶の存続と継承のため弊会の活動をご支援いただける方を会員として募集しています。元来、視覚障害者の芸能であった平曲。現在は晴眼者しかいなくなりました。

視覚障害者の方で学びたい方も募集しています!

福祉と伝統芸能(芸術)の融合でもある平曲。

日本の未来、世界に繋ぎたく、現在の任意団体から法人化を目指しています。

■年会費：4000円(毎年3月末まで、4月より新年度。
学生は半額)

■特典：年2回の平曲会が無料で御参会いただけます。

■平曲会のお知らせが届きます。

■活動・会計報告等あり。

■800年続く語りもの伝統芸能の平曲＝平家琵琶に触れることは日本の心を知り、古来の日本人の美意識と誇りを再認識できます。平曲を聴く生活で落ち着きと豊かな心を。
～学び、深い呼吸と発声で、若さと心身の健康を!～

※詳細は 一ツ目弁天会 までお問い合わせください